

FREE

ご自由にお持ちください

病院と地域を結ぶ病院情報誌

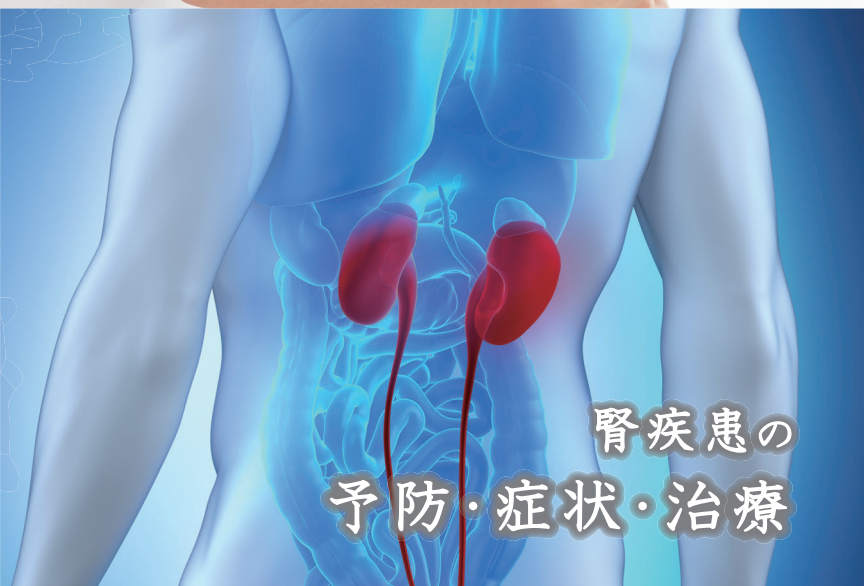
冬号

Winter

Clear

くりあ

THE SECOND ISSUE (第2刊)

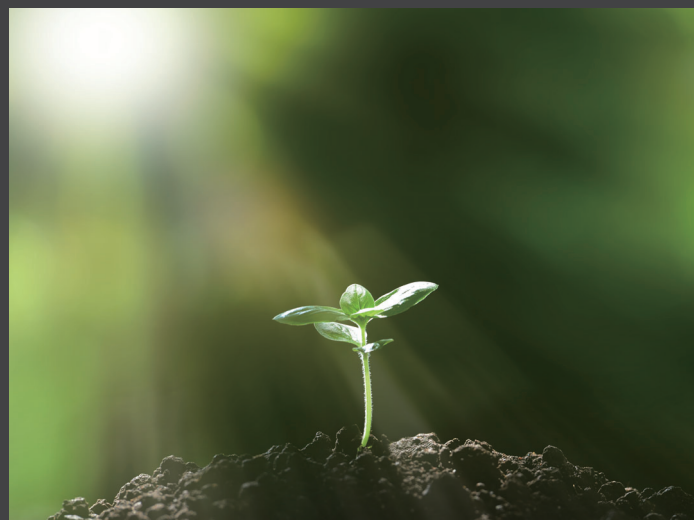


腎疾患の
予防・症状・治療



患率が年々増加している
尿路結石症の治療について

健康寿命を伸ばす!
ロコモティブシンドロームの対策



就労継続支援A型事業所
「アンクル」誕生

平成30年 年頭のごあいさつ



小山記念病院院長
田中 直見

新年、明けましておめでとうございます。

1969年開設の当院は、お陰様で創立49周年を迎え、鹿嶋市唯一の二次救急指定病院として地域の中核病院に発展してまいりました。平成29年、救急車の受け入れは約2900台となり、とくに脳神経外科医は平成26年11月から3人体制でホットラインを携帯し、救急隊や近隣医療機関と迅速に連携できる体制となりました。4時間半以内に対応すれば救命率も向上いたします。また循環器内科も平成26年4月より2人体制となり、ホットラインの活用により経皮的冠動脈ステント留置術や心臓カテーテル件数も増加しています。また平成28年4月からは不整脈の原因となる心筋を焼灼する、アブレーションと呼ばれる治療も開始しました。

昨年4月から、厚生労働省から地域がん診療病

院の指定を受け、地域の方々に対する市民公開講座や医療従事者に対する講演会など、多くのの方々のお力を頂きながら行っております。

7月からは尿管結石に対する体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)が導入され、多くの患者様の治療を行っています。

平成29年11月には茨城県から「仕事と子育て両立支援部門 優秀賞」を受賞いたしました。女性が多い職場ですので、若いスタッフの皆様がこの制度を活用して、働き続けて頂きたいと思います。

当院の理念であります、「私は心から患者様の身になって医療行為をいたします」を肝に銘じて、努力してまいりますので、皆様方も自分達の病院を自分達で育てるとの心意気で、暖かくご支援、ご鞭撻頂けますと幸いです。



院長 田中 直見 [たなか なおみ]

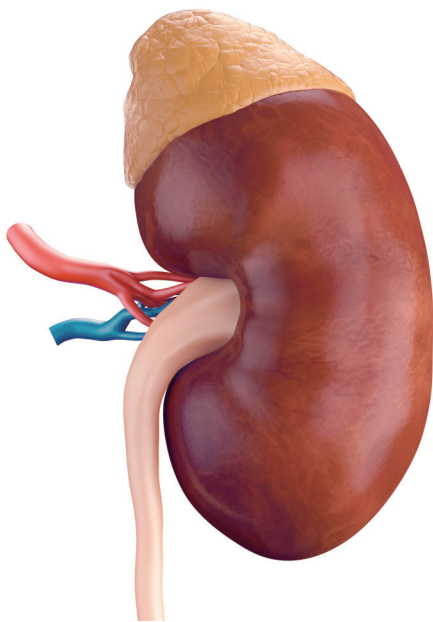
- ・日本内科学会 功労会員 認定医
- ・日本消化器病学会 功労会員 指導医 専門医
- ・日本肝臓学会 名誉会員 指導医 専門医
- ・日本胆道学会 名誉会員
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医 専門医
- ・日本高齢消化器医学会 評議員
- ・日本肝癌研究会 特別会員

腎疾患の 予防・症状・治療

腎臓病について

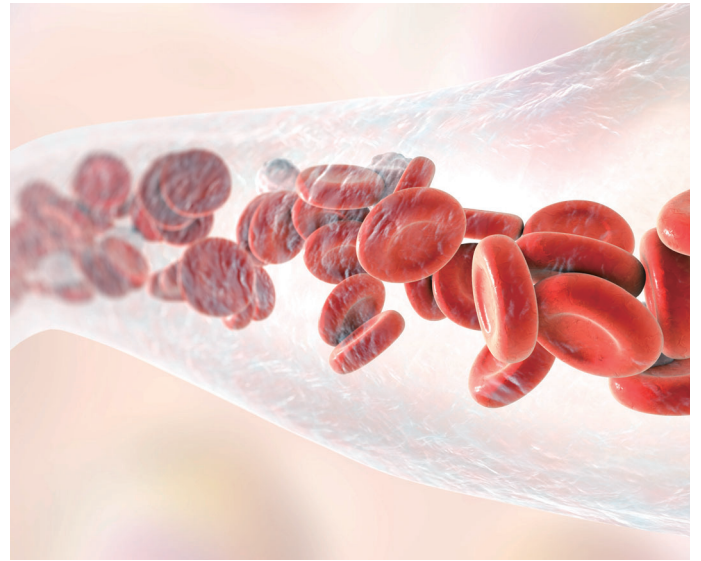
尿を作るというのが腎臓の働きですので、腎臓病とは、尿が十分に作れない状態になってしまう病気です。では、尿を作るとはということかと言うと、体の中の老廃物と余分な水分を体の外に出すということです。

したがって腎臓病とは、体の中の老廃物と余分な水分を十分に体の外に出せずに、それらが体の中に溜まってしまう病気です。



腎臓病の症状について

体の中に余分な水分が溜まった時の症状は『むくみ』です。これは分かりやすいと思いますが、体の中に老廃物が溜まった時の症状を考えると、分かりにくいと感じる方も多いのではないのでしょうか。



老廃物は血液の中に溶け込んでいます。血液は体全体に送られていますので、老廃物は体全体に悪影響を及ぼします。

例えば、老廃物が胃に悪影響を及ぼせば、『食べられない』、『吐いてしまう』などの症状が出ます。脳に悪影響を及ぼせば、『体がけいれんする』、『意識がもうろうとする』など、筋肉に悪影響を及ぼせば、『力が出ない』、『動けない』など、体の中に老廃物が溜まった時の症状は非常にさまざまです。

腎臓病の予防について

腎臓病のほとんどは、一度かかってしまうと治りません。したがって、いかに腎臓病にかからないかということが非常に重要です。

腎臓病には かからない事が最重要



腎臓病予防の上で一番重要な点は、糖尿病、高血圧症、高脂血症、高尿酸血症などの生活習慣病にかからない、かかってしまったらいかにその生活習慣病を落ち着かせるかということです。このためには、食事に気を付け、適度な運動を心がけるということが大切です。

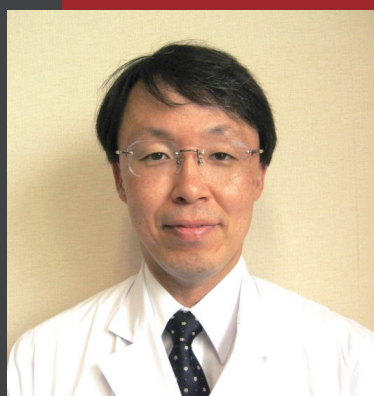
腎臓病予防でもう一つ重要な点は、十分な水分を摂るということです。体の中の水分が不足すると、腎臓に大きな負担がかかり、急激に腎臓の働きが低下してしまうこともあります。



腎臓病の治療について

予防のところでも書きましたが、腎臓病のほとんどは、一度かかってしまうと治りません。更に言うと、徐々に進行してしまいます。したがって腎臓病の治療とは、いかに腎臓病の進行を緩やかにするかという事になります。

腎臓病の治療で重要なのは、予防の時と同じく、食事に気を付け、適度な運動を心がけ、十分な水分を摂るということです。



佐藤 武志 [さとう たけし]

小山記念病院 腎臓内科部長

学会・専門医

・日本心身医学会

罹患率が年々増加している 尿路結石症の治療について

当院泌尿器科では2017年7月より尿路結石症に対してESWL(体外衝撃波結石碎石術、後述)による治療が始まりました。ここでは当院での尿路結石治療について説明させていただきます。

(1)はじめに

尿路とは尿を産生する腎臓(以下、腎)と腎から尿が流れて体外に排出される経路である尿管、膀胱、尿道のことを指します。この尿路に結石ができるのを尿路結石症といいます。(図1)

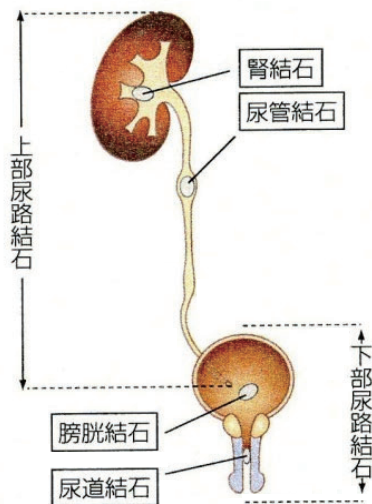


図1 尿管結石の部位別名称

尿路結石は紀元前エジプト時代の人体から発見されるほど古くからあり、泌尿器科領域の疾患では頻度の高い疾患です。結石の罹患率は年々増加しており、人口10万人に対し腎・尿管結石は男性192.0、女性79.3で、膀胱・尿道結石は男性14.1、女性4.4です。男性は30～50歳代に多く、

女性は50歳代に多い特徴があります。結石成分はシュウ酸カルシウム結石が約80%を占めます。

(2)成因

結石の成因は明らかではありません。尿中のシュウ酸カルシウムやリン酸カルシウムなどが濃くなって結晶核を形成し、成長・凝集して結石となると言われています。

尿路結石症のほとんどは原因となる病態・病状が明らかではなく、環境因子の関与が重要と考えられています。動物性蛋白・動物性脂肪の摂取量が多い欧米化された食生活の関与が多いと考えられ、家族親族内に結石患者がいれば結石発生の危険性が増加します。

(3)症状

a 疝痛(疼痛)：結石が排出される時に発作性の強い疼痛を生ずることがあり、疝痛と呼んでいます。その痛みは主に夜間・早朝に突如として発生し、時に冷や汗、嘔気・嘔吐、頻脈などを伴うことがあります。その痛みは間欠的で、発作が治まるとほぼ無症状になります。尿管結石の下降に伴い疼痛は側腹部から下腹部・鼠径部へと移動します。

b 血尿：結石によって肉眼的あるいは顕微鏡的血尿が認められます。

自然排出できるか 積極的治療をするか



c 膀胱刺激症状：結石が膀胱近くの尿管下部に下りてくると頻尿・排尿時痛・排尿時不快感・残尿感などが出現します。

d 結石排出(排石)：腎盂・尿管・膀胱・尿道を移動してきた結石は順調にいけば体外に排出されます。しかし、時に排出されず、腎・尿管・膀胱で結石が大きく成長することもあります。

e 無尿：特に両側尿管に結石が同時に詰まった時は尿が流れなくなり無尿になることがあります。腎不全になる可能性が高いので尿の流れを確保する治療が必要となります。

f 尿閉：結石が尿道に詰まると尿を排出することが出来なくなり、尿閉となることがあります。腹部が張った症状が強くなり、腎不全になることもありますので尿の流れを確保する治療が必要となります。

g 尿路感染症：尿路結石は尿の流れが悪くなるため、細菌感染を伴って腎盂腎炎や膀胱炎などの尿路感染を伴うことがあります。抗生剤の投与や尿の流れを確保する治療が必要となります。



(4)検査、診断

- a 尿検査
- b 腹部単純X線撮影(KUB)や腹部超音波検査
- c 単純X線CT(造影剤不使用)
- d 点滴静注腎盂造影(DIP)(造影剤使用)
- e 血液・生化学・内分泌検査：腎機能評価・基礎疾患・合併症(感染症など)の有無を検索目的



(5)治療

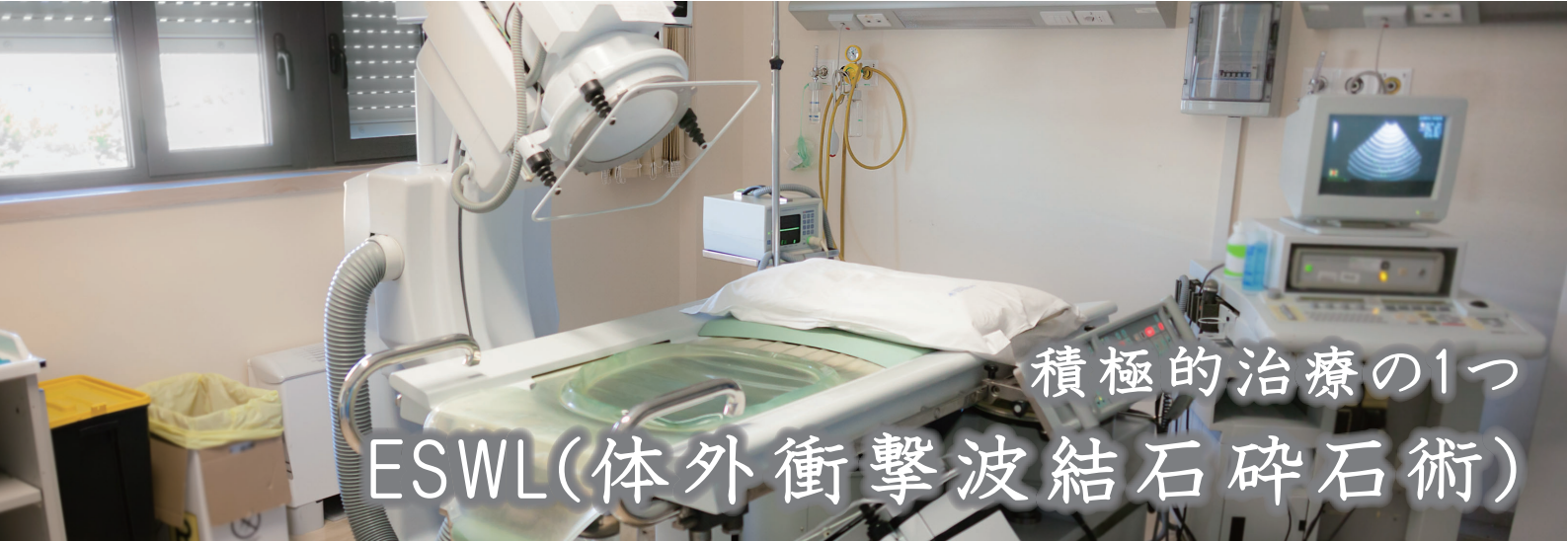
a 痙痛の対症療法

痙痛に対して第一選択として用いられるのは非ステロイド性消炎鎮痛剤です。その坐剤に即効性があり、強力な鎮痛効果を持つためよく用いられます。悪心や嘔吐などを伴わない時は経口剤の消炎鎮痛剤も効果があります。その他鎮痙剤や麻薬系の薬などの注射が行われます。

b 結石の治療

① 保存的治療(自然排石)

10mm未満の結石であれば自然排石が期待できますので水分摂取や運動、鎮痛剤・鎮痙剤の投与を行いながら経過観察を行います。その時に



積極的治療の1つ ESWL(体外衝撃波結石碎石術)

排石促進のため生薬や漢方薬を併用することもあります。

② 積極的治療

10mm以上の結石は自然排石が困難であり積極的治療の適応となります。10mm未満の結石でも保存的治療で約1か月以上排石が認められない場合、尿路感染症の合併がある場合、尿路通過障害による患側腎機能障害の進行が認められる場合、疼痛が高度に長期間持続する場合などが積極的治療の適応となります。当院では以下のESWL、TUL、PNLを施行しています。

ア 体外衝撃波結石碎石術(ESWL; extracorporeal shock wave lithotripsy)

体外で発生させた衝撃波を体内にある結石に集めて破碎し、碎石片を尿と共に体外に排出させる方法です(図2)。

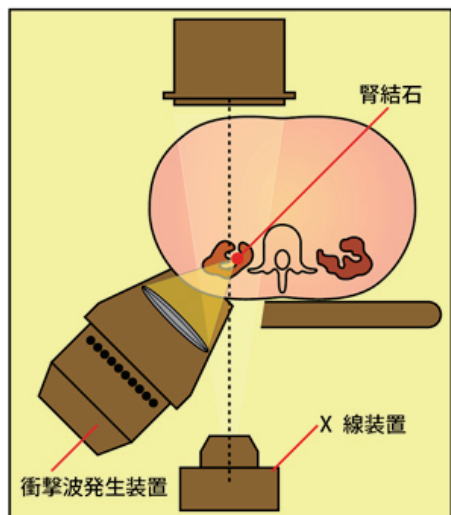


図2 ESWLによる碎石

治療機器の進歩によりESWL施行時の疼痛は鎮痛剤の投与のみで対応可能になってきています。主に腎・上部尿管の結石が対象となります。大きな結石の時は碎石片が尿管に詰まって尿路感染や腎機能障害を起こすことがあるので尿管ステントを予め留置することがあります。



副作用は血尿、皮下出血など軽微なものが主なものであり高齢者なども適応になりますが、抗血小板剤・抗凝固剤(血液をサラサラにする薬)を内服している時は適応とならないことがあります。稀には腎盂炎・腎被膜下血腫、膵炎、腸管損傷など重篤なものも報告されています。当院で施行しているESWLはX線透視で衝撃波を結石に集束させる装置を用いており、痛み止めを注射しながらやります。ESWL当日朝入院して頂き、ESWL施行後一晩経過を見て発熱・高度の血尿などの症状がなければ退院して頂きます(全経過1泊2日です)。

腎臓内の結石も 内視鏡で碎石できる

経尿道的尿管結石碎石術(TUL;transurethral ureterolithotripsy)

腰椎麻酔下(又は全身麻酔下)に尿道から膀胱を経て直接尿管に挿入した内視鏡(尿管鏡)を用いて結石を直視下で破碎する方法です(図3)。碎石装置はレーザーによるものが多く用いられています。

TULは尿管結石すべてと腎結石にも適応となります。ESWL不成功例・不的確例にも行われ、尿管の中ほどから膀胱近くの尿管結石では第一選択となります。合併症は尿管損傷(穿孔・断裂な

ど)ですが、尿管鏡や碎石機の進歩によりその頻度は低下しています。また治療後尿管内に一時尿流確保のため尿管ステント(図4)を入れますのでその管の違和感や血尿などが伴うことがあります。

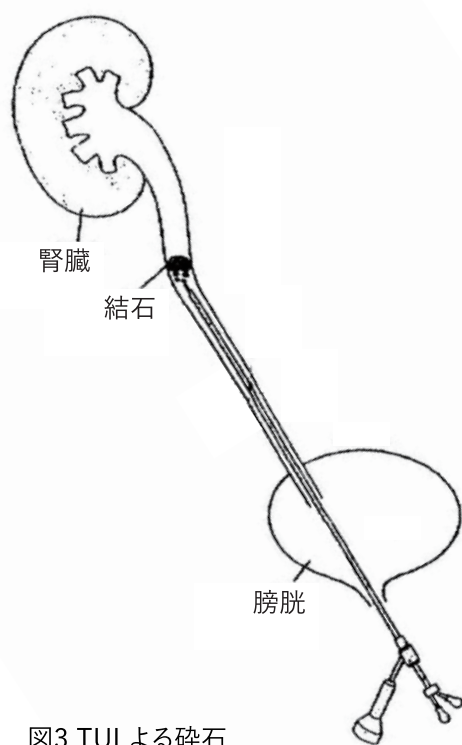
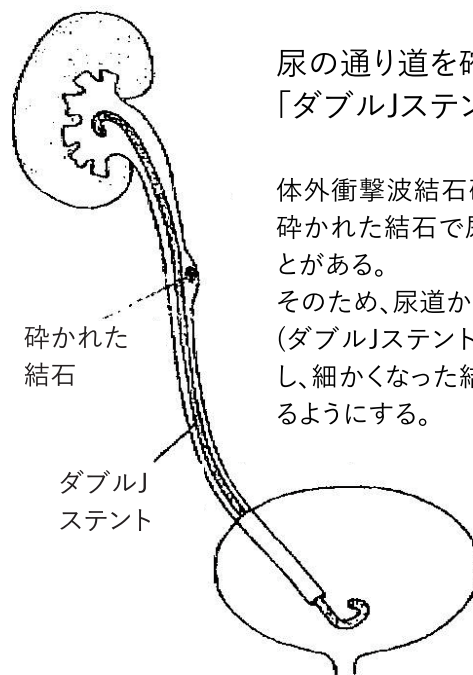


図3 TULによる碎石



尿の通り道を確保するための「ダブル」ステント

体外衝撃波結石破碎術などでは、砕かれた結石で尿管がふさがることがある。そのため、尿道から腎臓に細い管(ダブル)ステントを通して尿路にし、細くなった結石がその外を通るようにする。

図4 尿管ステント留置

当院でのTULは当日朝入院して頂き、TUL施行後一晩経過を見て発熱・高度の血尿などの症状がなければ退院して頂きます(全経過一泊二日です)。尿管ステントは後日外来で抜去しております。

尿路結石の痛みは 投薬でコントロールできる



ウ 経皮的腎砕石術(PNL;percutaneous nephrolithotripsy)

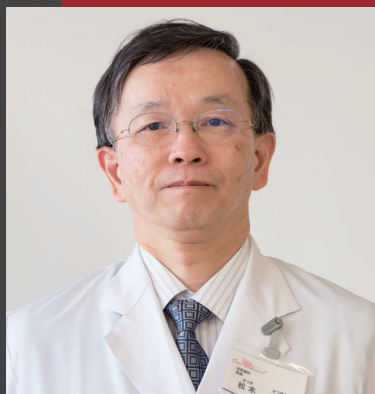
全身麻酔下に背中から直接腎臓の中に内視鏡(腎盂鏡)を挿入し、結石を直視下に砕石・摘出する方法です。ESWLやTULにより砕石困難な腎結石等に用いられます。TULと同じレーザーによる砕石装置を用います。皮膚を通して腎臓の中に内視鏡(腎盂鏡)を挿入する時に腎出血や胸膜損傷を伴う危険性があり、ESWLやTULより体に対する影響の大きい治療法であり適応は限定されます。

当院でもESWLやTULで対応しきれない尿路結石に施行しております。



(6)終わりに

尿路結石は疝痛などの症状があり、それが激しいので不安を感じ、恐怖感に捕われることもあります。通常、疝痛は投薬でコントロールでき、疝痛は長くても数時間以内なので心配いりません。当科では患者さんの結石の状態および体の状態に合わせて尿路結石の治療を選択し施行しております。



松木 克之 [まつき かつゆき]

小山記念病院 泌尿器科

学会・専門医

- ・医学博士
- ・日本泌尿器科学会認定専門医、同指導医
- ・ICD(感染管理医師：日本環境感染学会)

健康寿命を縮める ロコモティブシンドローム

今、健康寿命が必要とされています!!

2017年現在、日本人の平均寿命は男性で約80歳、女性で約86歳と言われており世界でも有数の長寿国となっています。しかしながら、その全員が自分のやりたいことを行い、楽しく生活できているわけではありません。

身体に健康上の問題が無く日常生活を送ることができる期間を健康寿命といいます。健康寿命は男性では平均71歳、女性では平均74歳と言われており、1人1人が自分らしく楽しく生活していくためにも健康寿命を延ばしていくことが今求められているのです。

健康寿命の天敵!ロコモティブシンドロームとは?

皆さんはロコモティブシンドロームという言葉聞いたことがありますか?

ロコモティブシンドローム(ロコモ)とは筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった体のいずれか、あるいは複数に障害が起こったために身体が弱まり、移動機能の低下をきたした状態をいいます。進行すると日常生活にも問題が生じ、要介護や寝たきりになる恐れがあります。いつまでも自分の足で歩き続けていくために、体を鍛えてロコモを予防し、健康寿命を延ばしていくことが必要なのです。

自分は大丈夫!…なんてことはないはず!自分の身体を見つめなおしましょう!!

横断歩道を
青信号で
渡りきれない



2kg程度の買い物をして
持ち帰るのが困難である
(1ℓの牛乳パック2個程度)



15分くらい
続けて歩けない



家の中で
つまずいたり
滑ったりする



家のやや重い
仕事が困難である
(掃除機の使用、
布団の上げ下ろしなど)



階段を上るのに
手すりが必要である



片脚立ちで
靴下がはけない



**上記で1つでもあてはまるとロコモかもしれません。
運動習慣をしっかりとつけてけがを予防しましょう。**

ロコモを予防し 自分の足で歩き続けるために



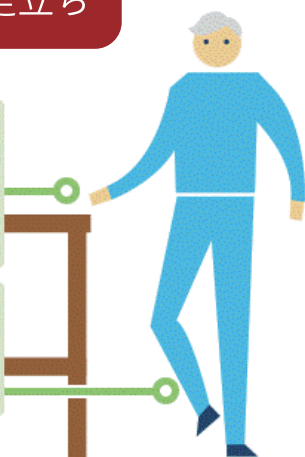
始めようロコトレ!!

身体の状態に応じてさまざまな運動の種類がありますが、まずは簡単な運動「ロコトレ」から始めてみましょう。運動のポイントは無理なく出来て、安全に毎日続ける事ができる事です。継続的に
行い、健康寿命を延ばしましょう。

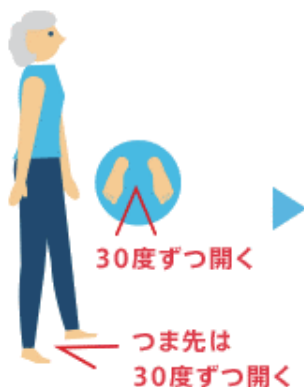
ロコトレ1：片足立ち

転倒しないように
必ずつかまるもの
がある場所で行い
ましょう。

床につかない
程度に、片脚を
上げます。



ロコトレ2：スクワット



1 肩幅より少し広めに足を
広げて立ちます。つま先
は30度くらい開きます。



2 膝がつま先より前に出ない
ように、また膝が足の人差し
指の方向に向くように注意し
て、おしりを後ろに引くよう
に身体をしずめます。

机に手をつかずにできる
場合はかざして行います。



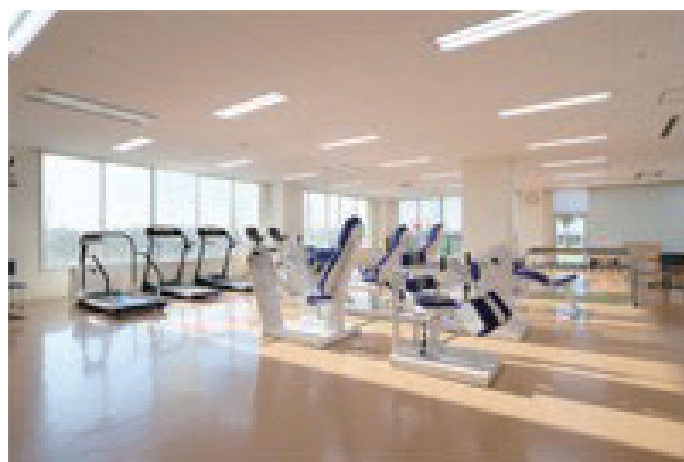
スクワットができないとき
は、イスに腰かけ、机に手
をついて立ち座りの動作
を繰り返します。

当院での取り組み

小山記念病院リハビリテーション科ではメディカルフィットネスとして地域住民の皆様に対して、健康増進目的だけでなく、メタボリックシンドロームをはじめとする生活習慣病の予防・改善の場を提供しています。

メディカルフィットネス申込先

TEL：0299-85-1172



平成29年12月1日

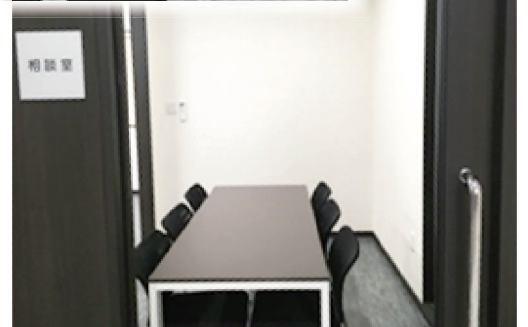
就労継続支援A型事業所 「アンクール」誕生



理事長 小山 浩子

昭和44年11月、故小山善朗によって48床の個人病院を鹿嶋市宮中に開設しました。その後昭和48年に法人化し、善仁会小山病院となりました。茨城の辺地といわれた鹿島は臨海工業地帯として急増する人口に、今迄の医療が追いつかなくなっておりました。数回にわたる増床は病院の機能を低下させ、また駐車場がなく患者様にご迷惑をおかけしておりました。

平成13年、厨台の地にこれからの医療を担う若者達の考えを充分生かした新病院を建設し、宮中から移転しました。「患者様の身になって医療行為をしよう」という故小山善朗の気持ちを受け継ぎ、今日は地域に根差した質の高い医療の提供ができるよう努力いたしております。



また、高齢化社会に対応すべく介護老人保健施設 鹿野苑(善仁会)、その他社会福祉法人至福会では、特別養護老人施設あやめ荘(潮来市)、ユニット型特別養護老人ホームセ・シボンかしま(鹿嶋市)、軽費老人ホーム鹿島の杜(鹿嶋市)等が、医療の応援を得て高齢者の介護支援を行っております。そして病院、介護施設、職員の福利厚生を受け持ちます株式会社「寿」があります。「食は命なり」をスローガンにセントラルキッチンで患者様、職員の皆様の食の充実をはかっております。「医療」を中心に善仁会は介護、福祉、給食等の幅広い仕事をするようになり、善仁会グループとなりました。



地域に根差した 福祉事業を目指して



鹿行地域は医療・介護が充実しているとはまだまだ言い難い地域ですが、その中でもとりわけ「すべての人が平等に輝く社会」、即ち障がい者対策が遅れております。職員の障害者支援に対する熱意で、障がい者就労継続支援B型事業所 One Heartを設立、池と滝がある庭を持つ住宅を改築しました。そこで4年間、職員は障がい者介護支援をしつつ支援をしてまいりました。

昨年平成29年12月1日障がい者就労支援A型事業所アンクルが誕生いたしました。

アンクルはクリーニング事業を基礎とした就労支援の施設です。開設して間もない施設ですが障がい者が生きがいのある仕事として、障害を1つの個性と認識し社会生活に希望を持ち、楽しく生活できればと願っております。善仁会グループで一番新しい、一番難しい施設と思っております。職員の熱意、障がい者のご父兄様の協力で頑張りたいと思っております。



医療・介護とは違い、地域に根差したとは言い難い事業ではありますが、5年・10年後にすべての人が個々を尊重し合い、自分らしく笑顔ですごせる地域になれるよう、「患者様の身になって」のモットーに始まった全てのものが、皆様のお役に立てるよう職員一同誠心誠意努めてまいります。そして福祉の充実を願って日々、活動していきたいと存じます。



利用について

利用できる方…

身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方

利用できる人数…20名

日時…月曜日～金曜日

AM9:30～PM3:30 ※実働5時間

賃金…時間給として茨城県の最低賃金以上(800円)

〒314-0047

茨城県鹿嶋市須賀1347-7

TEL 0299-88-2022

問合せ先 内田・竹澤

町の身近なお医者さん Vol.02

前田病院

院長あいさつ

当院は、昭和44(1969)年に創設されました。人工透析・腎臓病・シャントアクセス治療を主たる専門とし、診療科としては内科と泌尿器科を中心に診療を行っています。

我々は、世界でトップクラスの水準を誇る日本の透析医療に従事できる事を意気に感じ、質の高い透析医療を鹿行地域の皆様に提供できるよう、高い志を抱いて日々の医療に励んでおります。透析医療の分野では、日常診療のみならず、大規模災害時等にも連携・協力が非常に重要です。当院も鹿行地域内はもちろん、近隣医療圏の各医療機関とも密接な連携を取っています。殊に同じ鹿嶋市内の小山記念病院各科の先生方には、合併症の治療で日頃から大変にお世話になっています。また、当院がお役に立てる部分では、地域の皆様のために力を尽くさせて頂きたいといつも考えております。

特色のある治療等

- ・内シャント造設手術
- ・人工血管移植などの透析外科治療
- ・内シャント血管カテーテル治療

医療用バルーンやステントを用いた血管内カテーテル手術(血管を拡張する手術)

外科的再建手術をしないで済む血管(シャント)の補修術です。

- ・糖尿病療養指導士や様々な職種のスタッフが一体となった糖尿病チーム診療
- ・送迎車による透析への通院補助を行っております。通院が困難な方には長期入院透析にも対応可能です。

診療科目： 人工透析外科、腎臓内科、糖尿病内科、内科、泌尿器科(木、土)、皮膚科(金)

診療時間： 午前9:00～11:00(受付終了)
午後2:00～4:00(受付終了)
皮膚科は午後3:00受付終了
内科は午後完全予約制

休 診 日： 木曜日午後・土曜午後
日曜日・祝日(夏季、年末年始休診日有)

院長 前田 伸樹 [まえだ のぶき]

- ・日本透析医学会認定透析専門医・指導医
- ・日本内科学会認定総合内科専門医
- 日本腎臓学会認定腎臓専門医
- 日本糖尿病学会認定糖尿病専門医



○ アクセス

人工透析外科 腎臓内科 内科
糖尿病内科 泌尿器科 皮膚科
前田病院

☎ 0299-83-1122

〒314-0031 鹿嶋市宮中5201





KASHIMA City Information

鹿嶋市からのお知らせ

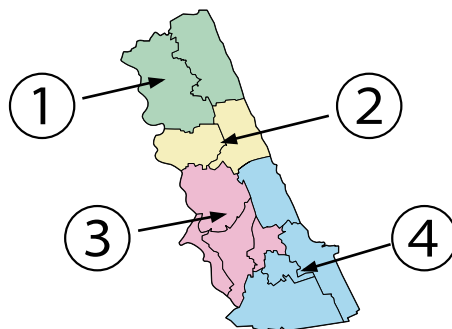
～ 高齢者の健康や安定した暮らしを支える相談機関 ～

地域包括支援センター

要支援高齢者や虚弱な高齢者の心身の健康維持や安定した暮らしを地域ぐるみで支えていくための拠点となる機関です。いつまでも「自分らしい生活」を送れるように、社会福祉士や主任ケアマネジャー・保健師(または経験のある看護師)が協力し合い、適切なサービスを調整します。

相談例

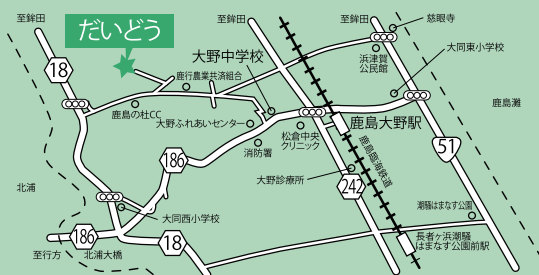
- 介護保険で要支援1・2と認定を受けた
- 介護予防サービスを利用したい
- 認知症の疑いがある。対応に困っている
- 足腰が弱ってきた
- 閉じこもりがちだ
- 虐待を受けている



1 鹿嶋市 だいどう 地域包括支援センター

担当小学校区：大同東・大同西
住所：鹿嶋市武井1956番地3
(特別養護老人ホーム 松寿園内)

TEL：0299-77-5681



2 鹿嶋市 なかの 地域包括支援センター

担当小学校区：中野東・中野西
住所：鹿嶋市和824番地1
(大野診療所内)

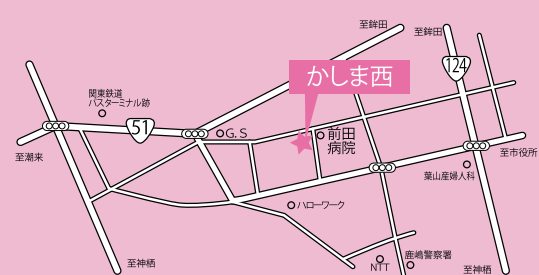
TEL：0299-95-9910



3 鹿嶋市 かしま西 地域包括支援センター

担当小学校区：豊津・豊郷・三笠・鹿島
住所：鹿嶋市宮中5200番地
(特別養護老人ホーム サントピア鹿嶋隣)

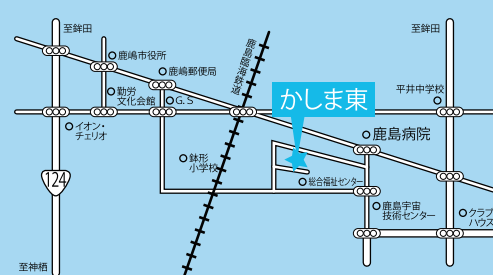
TEL：0299-85-1522



4 鹿嶋市 かしま東 地域包括支援センター

担当小学校区：波野・高松・平井・鉢形
住所：鹿嶋市平井1350番地332
(たかおさき内)

TEL：0299-82-9351



今年もインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行する季節となりました。高齢者が集団生活をおくる施設では、感染症の発症や集団感染に気をつけなければなりません。感染症予防を目的として乳酸菌シロタ株を活用している施設をご紹介します。



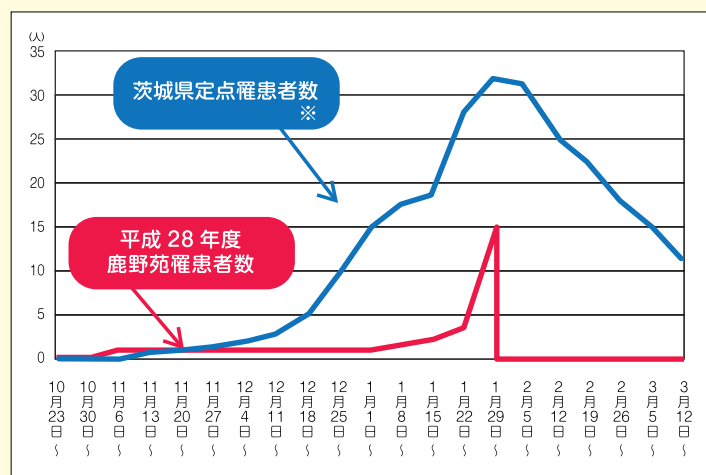
介護老人保健施設 鹿野苑^{ろくのえん}の取り組み (2016年10月～2017年3月)

乳酸菌シロタ株 200億個含有の乳製品乳酸菌飲料を食事と同時に飲用

飲用者数 ・入所者 223名
・通所者 255名 } 合計 616名
・職員 138名

・インフルエンザ罹患者数は半年間で23名でした。(インフルエンザ罹患率3.7%)

介護老人保健施設 鹿野苑と茨城県のインフルエンザ発生動向の比較



※茨城県内120の指定医療機関1箇所あたりのインフルエンザ平均罹患者数

乳製品乳酸菌飲料飲用者の罹患者数

POINT
1

通所利用者 255 名中、
インフルエンザ罹患者
は2名でした。

POINT
2

かつ、ノロウイルス
罹患者は0名でした。

H28.10月～H29.3月の半年間、毎日昼食に乳製品乳酸菌飲料をつけていました。

例年同様、ノロウイルス罹患者は0名、インフルエンザ罹患者は一昨年前の通所利用者と比較すると有意な差が認められます。



鹿野苑管理栄養士

施設紹介

医療法人社団善仁会
介護老人保健施設 鹿野苑

〒314-0006
鹿嶋市宮津台188-17
(高天原団地バス停より徒歩5分)
電話：0299-83-7311
FAX：0299-83-7348
<http://www.rokunoen.jp>

